

## 令和6年度 八王子市立由木西小学校 学校経営報告

八王子市立由木西小学校 校長 植杉 義久

＜目指す学校像に向けた取組目標についての報告＞ ○…成果 ▲…課題、対応策等

### (1) 健やかな心身と、笑顔が輝く学校【重点項目】

#### ＜いじめのない学校・学級経営＞

- 代表委員会を中心に、ふわふわ言葉を普及させる活動や人と良好な関係を築くことの大切さを訴える動画の制作、発表などを通して、いじめ防止の意識を高めることができた。児童アンケート「いじめのない学校づくり」の肯定的な回答が90%と高い数値だった。
- 毎週火曜日の「生活指導朝会」や毎週水曜日の「いじめ対策委員会」において教職員で情報を共有し、早期発見早期対応を行ってきた。
- ▲学校評価アンケート「いじめに適切に対応している」の肯定的な回答が90%と高い数値ではあるが、残りの9%は「わからない」の回答であった。いじめのない学校づくりを目指しどのように取り組んでいるか、情報発信を工夫していく。
- ▲いじめを「誰にでも」「どこでも」起こりうるものとしてとらえ、些細な変化も見逃さないよう教職員がアンテナを高くして児童をしっかりと見守り、保護者と連携を密にしながら、早期発見・早期対応を行っていく。

#### ＜保護者や関係機関と連携した特別支援教育の充実＞

- 学校評価アンケート「学校は特別支援教育に取り組んでいる」についての肯定的な回答が98%で、一定の評価を得ることができた。
- 月1回の特別支援教育校内委員会では、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教室「おおるり教室」の教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが同席し、協議や情報共有を適切に行うことができた。
- 特別支援教室「おおるり教室」について、保護者には年度当初の保護者会での理解啓発ビデオの上映、児童には1年生を対象に体験授業を実施したことで、正しい認識のもと、教室運営をすることができた。来年度も引き続き、取り組んでいく。
- ▲特別支援教育の充実を図るために、正しい情報発信と、学校・保護者・関係機関との連携・情報共有を引き続き行っていく。

#### ＜自尊感情を育む教育活動の継続と深化＞

- 学校評価アンケート「子どもが自分の大切さ、他の人の大切さを認め行動することができる教育の推進」についての肯定的な回答が、保護者93%・児童100%と共に高い数値であった。
- ▲自尊感情を育むために、授業後の振り返りや異学年で編成されるたてわり班活動を充実させ、他者からの承認や賞賛、励まし、共感の経験を積むことができる場を、来年度も引き続き提供していく。

### (2) すべての子ども達に学力が身に付く学校【重点項目】

#### ＜個に応じた授業づくり＞

- 昨年まで学習用端末の活用について授業実践を重ねてきた。その成果もあり、児童アンケート「学習用端末を使った授業はわかりやすい」の肯定的な回答は88%で、研究の成果が継続して示されたと考える。
- 児童アンケート「教え方がわかりやすい」97%、「自分の学習への取組を先生はきちんとわか

ってくれている」97%と高い数値を得ることができた。

▲学校評価アンケート「個に応じた指導」の「わからない」の回答が4.4%であった。肯定的な回答が95.6%と多くの方に理解されているが、年度当初に「個に応じた指導」についてさらに丁寧に説明していく。

▲学習用端末の活用が日常的に行われるようになったため今後は、指導の個別化、学習の個性化をより推進していくために、効果的な学習用端末の活用方法を研究し共有していく。

#### <やってみたい・学んでみたいと思う授業づくり>

○「自ら学びに向かう児童の育成 ～やってみようと思える体育から～」の研究主題のもと、月1回の校内研究全体会、年2回の授業研究及び研究協議会を実施した。成果として自ら学びに向かわせるためには、「自己選択する場面の設定」「スモールステップの展開」「自分たちでより楽しくなるルールを考える」「自分もできるかと思える導入」「見通しがもてる」「身近な生活と学習が結びつく」「見方や考え方が深まったり広がったりする工夫」があげられた。

▲次年度は主題を継続させ、副主題を他教科に絞り、研究の成果を波及させていく。

#### <市学力定着度調査（4～6年）の結果から>

目標値との差	国語		算数	
	5月	12月	5月	12月
4年	0.3%	-4.0%	7.0%	-0.3%
5年	15.1%	14.5%	14.6%	17.6%
6年	-6.8%	-2.7%	0.6%	-0.8%

○国語は、5年生は5・12月ともに目標値を大きく上回っており、4年生はおよそ4ポイントのダウン、6年生はおよそ4ポイントのアップだった。

○算数は、5年生の12月は目標値を大きく上回り、4年生は7ポイント、6年生は1ポイントダウンの結果となった。5、6年生の伸びは5月の結果を分析し、算数少人数担当と担任とが連携を密に行い、授業内容や進め方を試行錯誤し、その学年、その児童にあった指導方法を実践してきた成果と考える。

▲全体的に見ると5月に比べて12月は概ね良かったと言えるが、教科ごとにデータを細かく分析すると、学年ごとの弱点や個人差の問題等が見えてきた。来年度に向けて、課題を明確にし、対応策を学力向上担当中心に模索していく。

▲本年度は、朝学習の時間を利用し、基礎学力や語彙力の素地を育てる活動を実践したが、児童の変容がはっきりしないため、来年度は目標を明確にして取り組んでいく。

### (3) 保護者、地域と共に歩む学校

#### <学校運営協議会と連携し、保護者・地域の教育力を導入した教育活動の充実>

○9月14日に地域歴史研修会を企画し、鍮水テフラや諏訪神社、子之神社、八幡神社を訪問した。児童、保護者、地域、教職員の約20名が参加した。鍮水テフラの地質学的価値や歴史、発見された経緯、それに係る南津電気鉄道の計画など地域の歴史を深く知ることができた。また、桑都物語の構成文化財に認定された「諏訪神社」の価値やその歴史、などについての話もあり深い学びを得ることができた。

○畑見学や小泉屋敷見学、鍮水テフラ見学や戦跡巡りなどの地域探検の際、地域の方に協力していただき、実物に触れ、そこで生活している人から直接話を聞くことができ、実りある学習をすることができた。

#### <保幼小連携、鍮水小・鍮水中との連携を推進>

○鍮水小学校…自然体験交流（1・2年 10月4日）、クラブ交流（4～6年 11月25日）、八王子かるた大会（3・4年 1月31日）を実施。

- 鑓水中学校…プレ中学生プロジェクト・部活動体験（6年 6月7日）、八王子っ子サミットにおける提言のまとめ（6年 6月15日）、小中一貫教育の日（年3回 各校にて授業参観）を実施。
- 柚木武蔵野幼稚園…たけのこ掘り（4月19日）、1・2年生との交流（5月31日）を実施した。
- ▲ 小中一貫教育の取組について、連携校と遠距離という物理的な課題はあるが、オンラインを活用し、新たな活動にも挑戦しながら、鑓水小、鑓水中とさらに連携を深めていく。

#### <教職員として地域行事に参加し、保護者・地域の方と共に語り共に汗を流しあえる関係の構築>

- 町会のお祭りや市民センター祭り、南大沢音楽祭、青少対クリーン活動、PTA 関連行事に多くの教職員が参加し、地域や保護者の方との親睦を深めることができた。
- 5・6年児童も町会のお祭りに参加し運動会で踊ったソーラン節を披露することができた。お祭りを大いに盛りあげるとともに、地域とのつながりをより深めることができた。

### (4) 自然と芸術と共に生きる学校

#### <「学校林」を活用した自然観察・体験活動の授業の充実>

- ▲ 由木西レンジャー以外の授業で学校林を使用することは難しかった。来年度は、保護者や地域人材を活用した学校林整備活動や自然観察学習を実施できるよう、学校運営協議会と連携しながら調整を進めていく。

#### <「由木西レンジャー」の活動の充実>

- 学校評価アンケート「由木西レンジャーの取組」についての肯定的回答が保護者96%・児童100%と共に本校の特色である由木西レンジャーの活動に対して高評価を得ることができた。たけのこ掘りや門松づくり、高尾校外学習、落ち葉集め、カタクリ園の観察の他に、今年度もコスモスやマリーゴールドを全校で栽培することができた。

#### <グリーンファミリーズ、ガーデニングラバーズを中心とした、自然環境の整備・保全の取組>

- 学校運営協議会が中心となって組織する「グリーンファミリーズ」は竹林整備を、「ガーデニングラバーズ」は校舎内外の自然環境整備を定期的に行っていた。
- ▲ 「グリーンファミリーズ」の会員が減少し、活動の維持が難しくなっている。そのため「ガーデニングラバーズ」と統合し活動を精選する方向で動いている。

#### <由木西米、麦、筍、梅等を使った食育活動の充実>

- 学校評価アンケート「食育活動についての取組」の肯定的回答は、保護者、児童共に100%だった。
- 5年生が育てた由木西米や4年生が育てた麦で作った小麦粉を利用したカップケーキを給食で提供し、おいしく食べることができた。また、2年生が作った梅ジュースを休み時間に全校にふるまうことができた。

#### <「由木西小合唱団」の取組の継続>

- 今年度は1学期からスタートし、由木中央市民センター祭り（11月3日）、南大沢音楽祭（2月3日）、合唱祭（3月20日参加予定）に参加でき、日頃の成果を外部の人にもお披露目することができた。
- 学校評価アンケート「由木西合唱団の取組を通して、子ども達の豊かな感性を育み互いに高め合おうとする心情を育てる」の肯定的回答が87%であった。

#### <1年を通して、児童の図工作品が校舎を飾る取組の継続>

○学校評価アンケート「図工作品の校内掲示の取組を通して子ども達に豊かな感性を育み、互いの良さを認め合おうとする心情を育てる」の肯定的回答が100%であった。来年度も継続し、心温まる校内環境にしていく。

## (5) 安心・安全で信頼される学校

### <安全教育の充実>

○避難訓練は、命を守る大切な授業ということを子ども達に徹底させ、真剣に取り組むよう指導してきた。児童アンケート「避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか」の肯定的な回答が100%だった。

○セーフティ教室（6月15日）、交通安全教育（1・2年5月9日）、自転車安全教室（3・4年6月21日、5・6年1月21日）、メディアリテラシー教育（5・6年9月14日）の授業を通して、防犯や交通安全に対する意識を高めることができた。

### <教育活動の情報発信>

○学校評価アンケート「適切に情報を提供している」の肯定的な回答が100%であった。ほぼ毎日のホームページ更新による日常の教育活動の情報発信、ホームアンドスクールを活用によるスムーズな情報提供が高い数値に結びついたと考える。来年度も引き続き取り組んでいく。

### <服務事故防止の徹底>

○「服務事故防止研修計画」に則り、每学期末の服務研修や市教育委員会から提供される事例、校長会・副校長会での情報提供等を通して、服務事故に対する注意喚起を行ってきた。引き続き、教職員が危機意識を高め、服務事故ゼロを推進していく。